

九州大学ラーニングアナリティクスセンター第1回シンポジウム

# 理想のラーニングアナリティクスを 目指して

～研究と実践の往還～

高等教育機関では学習支援システムの活用が進み、初等中等教育機関にもGiGAスクールを始め、1人1台端末とその活用を支援するWiFi環境、教材配信基盤の整備が進んでいる。それを背景に学習データの活用について政府機関や自治体、教育機関で実践レベルの議論がなされており、研究としてはラーニングアナリティクス研究がここ10年、国内外で盛んに進められてきている。九州大学では日本初のラーニングアナリティクスセンターを設置し、これまでに様々な学習支援システムや教育データの分析技術を開発し、数多くの研究知見を生み出してきた。次のフェーズとして、ラーニングアナリティクス研究で創り出した知見を、教育現場で信頼できるラーニングアナリティクスシステムとして昇華させ、実践活用、社会実装を進めていく必要がある。さらに実践の場から研究の場へ知見と課題が循環し、研究と実践のサイクルが回る状況を作り出すことが望ましい。本シンポジウムでは研究と実践の往還を目指すために研究と社会実装の観点から議論を行い、信頼して利用可能な理想的なラーニングアナリティクスの実現に向けて検討する。

2023.1.5(木)

九州大学椎木講堂 大会議室

福岡市西区元岡744  
九州大学 伊都キャンパス センターゾーン

## プログラム

総合司会:長沼祥太郎(九州大学 教育改革推進本部・講師)

12:30~ 開場

13:00~ 開会

挨拶・主旨説明:谷口倫一郎(九州大学 理事・副学長)

### 第一部:講演

13:05~ 招待講演:緒方広明(京都大学学術情報メディアセンター・教授)

13:35~ 招待講演:弘中哲夫(広島市立大学大学院情報科学研究科・教授)

### 第二部:研究報告

14:05~ 大久保文哉(九州大学大学院システム情報科学研究院・准教授)『情報科学の立場から』

14:20~ 山田政寛(九州大学基幹教育院・准教授)『教育工学の立場から』

14:35~ 石井宏昌(西日本電信電話株式会社)『社会実装の立場から』

(休憩10分)

15:00~ パネルディスカッション・質疑応答

「研究と実践を往還するラーニングアナリティクスを目指して」

指定討論者:島田敬士(九州大学大学院システム情報科学研究院・教授)

パネリスト:緒方広明、弘中哲夫、深堀聡子(九州大学教育改革推進本部・教授)、  
揚田直樹(西日本電信電話株式会社・担当課長)

16:00~ 閉会

挨拶:島田敬士

### 問い合わせ

九州大学ラーニングアナリティクスセンター 〒819-0395 福岡市西区元岡744 mail:inquiry@la.kyushu-u.ac.jp

**参加無料!**

**対面定員:80名**

**オンライン開催あり!**

※定員になり次第オンライン参加になります

### 対象

九州大学の教職員、学生、一般の方

### 申込方法

右のQRコードより

お申し込みください

<https://ueii.kyushu->

[u.ac.jp/fdp/event/details/235](https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/235)

### アクセス

イーストゾーン行 九大中央図書館下車徒歩1分  
(昭和バス)、ウエストゾーン行 九大ビッグオレン  
ジ下車徒歩3分(昭和バス、西鉄バス)、他

※詳しくはこちら

<https://la.kyushu->

[u.ac.jp/news/sympo23/](https://la.kyushu-u.ac.jp/news/sympo23/)



主催:九州大学ラーニングアナリティクスセンター、  
JST戦略的創造研究推進事業(CREST)「教育大航海時代の羅針盤:学習分析の信頼基盤 ReLAX の創出」プロジェクト  
後援:九州大学データ駆動イノベーション推進本部、九州大学大学院システム情報科学研究院、  
一般社団法人 エビデンス駆動型教育研究協議会、一般社団法人 情報処理学会 九州支部